



新しい発見、新しい結合、新しい価値。

北陸未来共創フォーラム

産学官金プラットフォーム for Innovation challenge

# UIターン人材の活用・定着



金沢大学 人間社会研究域 経済学経営学系

佐藤 清和

2025年1月30日



## 目標

都市部など、北陸以外からの人材の呼び込み、  
北陸地域の就職・定着に挑戦します！

## 各大学の活動報告・事例紹介

- 金沢大学
- 富山大学
- 福井大学
- 福井県立大学

☆ 過年度研究員による体験報告：工藤篤志 氏

## 『 共創型企业・人材展開プログラム 』

産・学・官・金の「共創」による  
地域人材エコシステムの構築

→ 地域企業・地域産業の発展・変革を目指す！

推進体制



受入企業の開拓

中核人材の募集

リカレントの提供

# 共創型企业・人材展開プログラム

## 中核人材定着エコシステム



# 「共創型企业・人材展開プログラム」のリカレントプログラム（R6年度）

開講式（10月）

大学でのリカレントプログラム

① 総合演習（月1回）

企業課題の解決に向けた全体討議

② 先端研究講義（月1回）

金沢大学の教員より経済学を中心に専門の講義を実施

③ 「共創型人材シナリオ」  
構想ゼミ（月1回）

地域（石川県）企業における共通課題などディスカッション  
課題解決するための「共創型人材」となるシナリオを構想

④ 地域ワークショップ  
（月1回）

地域や企業の見学（フィールドワーク）  
北陸・石川県（地域・文化）を学ぶ

客員「研究員」として

週4日は企業に入り、週1日大学へ

プレイングコンサルタントとして



週1回

週4回

※日程および曜日は調整した上で設定

企業側の業務に従事しながら企業と協働で「企業課題」を解決（週4日出勤）

最終報告会（3月）

4月以降の活動・就労先決定

企業での  
ミッション遂行



新しい発見、新しい結合、新しい価値。

# 北陸未来共創フォーラム

産学官金プラットフォーム for Innovation challenge



## 人材流入・地域定着分科会



### 北陸3県の連動するプロジェクト

#### 『共創型企业・人材展開プログラム』 【石川】

- ・令和元年度の第1期 : 7社9名のマッチングが成立 (8名修了)
- ・令和2年度の第2期 : 8社8名のマッチングが成立 (5名修了)
- ・令和3年度の第3期 : 6社6名のマッチングが成立 (5名修了)
- ・令和4年度の第4期 : 8社8名のマッチングが成立 (8名修了)
- ・令和5年度の第5期 : 6社6名のマッチングが成立 (5名修了)
- ・令和6年度の第6期 : 5社5名のマッチングが成立

#### 『富山Re-Designラボ』 【富山】

- ・令和4年度の第1期 : 7社7名のマッチングが成立 (7名修了)
- ・令和5年度の第2期 : 9社9名のマッチングが成立 (9名修了)
- ・令和6年度の第3期 : 5社5名のマッチングが成立

#### 『ふくい企業価値共創ラボ』 【福井】

～福井県・福井県立大学・Fプロジェクトの連携～

- ・令和5年度の第1期 : 5社5名のマッチングが成立 (5名修了)
- ・令和6年度の第2期 : 4社4名のマッチングが成立

第6期が  
10月スタート!

修了生	31名
地域定着	24名

第3期が  
6月スタート!

第2期が  
9月スタート!

研究員に期待されるミッション

## 配送部門と総務部門における 業務の効率アップ

現場を検証すると同時に、社員と信頼関係を深め、本音を引き出すことで配送部門・総務部門に潜む課題を抽出。これまでのキャリアで積み上げてきたノウハウをもとに業務の改善策を提案、推進した。

### ▼ 取り組み内容

**Step 1** 現状把握  
成果を数値で表すためのデータを収集。同時に改善策の立案に向け、社員と信頼関係を構築し、本音をヒアリング。

**Step 2** 課題整理  
現場の検証と社員の声をもとに、業務の効率を上げられない潜在的な課題を見極め。

**Step 3** 改善策の立案・実行  
Step2で見いだした課題の解決に向けて改善策を立案、実行。その成果を数値で明確化。

**Step 4** 定着化  
業務改善が社内のリソースだけでも継続的に自走できるよう、定着のための仕組みを構築。

受入企業

### 株式会社森八

業務統括室取締役室長兼工場長  
森岡 晋也 さん

1625年（寛永2年）に創業した老舗の和菓子製造会社。代表的な商品として、日本三銘菓の一つに数えられる「長生殿」をはじめ、「千歳」「黒羊羹」などがある。こだわりの原材料と伝統的な製法で生み出される味わいが広く愛されている。金沢市大手町の本店に木型美術館を併設し、和菓子文化の発信にも力を入れている。

研究員

### 山本 拓也 さん

神奈川県横浜市出身。大学時代をアメリカで過ごし、国際経済学を専攻する。18か国を渡り歩きながら、地域の経済、文化、宗教を学ぶ。卒業後は物流企業、Eコマース企業、小売り企業で、サプライチェーン、ロジスティクス、品質管理など歴任。起業家向け経営塾で、ロジスティクス分野の講師を担当。現在はコンサルティング会社を経営。

共創型企業・人材展開プログラム 事例

CASE:

## 配送部門と 総務部門の 業務改善



研究員に期待されるミッション

## 持続可能な発展を支える ものづくり人材の確保

新社長就任後、積極的に即戦力採用を進め、従業員数を10人から20人へと倍増させることに成功した。次なる課題は、ベテランからの技能伝承と、これを引き継ぐ若手・中堅人材の確保である。人事業務の経営者依存からの脱却も含め、新たな体制構築に取り組んだ。

### 取り組み内容

**Step 1** 現況把握  
全社員面談、事業・組織の構造分析を行い、会社全体の傾向や個人の人格・思考性を分析した。

**Step 2** 課題整理  
課題要素を「採用」「定着」「育成」「評価」の各項目別に分解整理し、新卒・中途の採用に重点を定めた。

**Step 3** 実務対応  
求人活動と並行し、文書整備や選考プロセスの再定義、就業規則の改定など環境整備にも取り組んだ。

**Step 4** 継続的改善  
Step3の実務対応を繰り返し改善しながら、新卒人材の採用から定着の過程をフォローする準備を進めた。

受入企業

### 株式会社新家製作所

代表取締役社長 山下 公彦 さん

1956年に加賀市で創業した金属加工の町工場。主にコンパチチェーンや建設機械の部品加工を得意としている。石川県事業承継・引継ぎ支援センターの仲介で、2020年に第三者承継を実現した。近年は、特許取得の粉碎機構を用いた商品開発にも挑戦しており、航空機エンジン技術を活かした純国産コーヒーマイル・ベッパーマイルとして試作状況が全国的に注目を集めている。

研究員

角田 紘一 さん

熊本県出身。世代交代を伴う事業承継や組織改革を専門的に支援するコンサルティング会社に入社。以後、医療系IT企業や医療機関の事務長を経て現職。組織と人を活かして伸ばす経営人事のプロフェッショナルとして活躍する。経営と現場が役割や立場の違いを認め合いながら共同体として共通の指針を持ち、各自がサーバントリーダーシップを発揮できる組織を目指している。

共創型企業・人材展開プログラム 事例

CASE:

経営者に依存せず  
人事・人材確保が  
できる組織づくり